

資料5 (補足). 参考事例

【機能配置例1～3のイメージに近い施設】 ※次頁詳細あり

No.	名称	所在地	機能 ※アンダーラインはメイン機能となる施設	機能配置の組合せ		
				例1	例2	例3
1	さくら福祉センター さくら保育園	愛知県安城市	会議室、多目的室、調理実習室、 <u>身体障害者デイサービスセンター</u> 、桜井地区社会福祉協議会、 <u>子育て支援センター</u> 、 <u>保育園</u>	○	○	
2	市民交流センター えんぱーく	長野県塩尻市	図書館、子育て支援センター、カフェ、会議室、 <u>多目的ホール</u> 、 <u>音楽練習室</u> 、 <u>食育室</u> 、 <u>市民サロン</u> 、 <u>イベントホール</u> 、ICTルーム、パソコンコーナー、協働オフィス、ハローワーク、民間企業オフィス、商工会議所、市商工課、中心市街地活性化推進室			○
3	浦佐認定こども園	新潟県南魚沼市	<u>認定こども園</u> 、 <u>学童保育室</u> 、 <u>病児保育室</u> 、 <u>一時保育室</u> 、 <u>子育て支援ルーム</u>	○		
4	まちなかの保育園 こたけむかいはら	東京都練馬区	<u>保育園</u> 、 <u>カフェ</u>	○		
5	健康の駅ながおか	新潟県長岡市	<u>介護予防・地域交流センター</u> 、 <u>ケアプランセンター</u> 、 <u>デイサービスセンター</u> 、 <u>デイホーム</u> 、 <u>訪問介護ステーション</u> 、 <u>配食サービスステーション</u> 、 <u>高齢者センター</u> (大広間、和室、大浴場、健康増進コーナー、食堂・売店、研修室)、 <u>クリニック</u> (内科、循環器科、心療内科、歯科)		○	
6	健康増進センター ゆふと	宮城県東松島市	<u>プール</u> 、 <u>浴場</u> 、 <u>トレーニングルーム</u> 、 <u>スタジオ</u> 、 <u>談話室</u>			○
7	市民交流センター ネーブルみつけ	新潟県見附市	まちなかの駅、 <u>団体活動室</u> 、 <u>市民交流サロン</u> 、 <u>喫茶コーナー</u> 、 <u>多目的広場</u> 、 <u>特産品販売場</u> 、 <u>雇用情報コーナー</u> 、 <u>健康づくりセンター</u> 、 <u>子育て支援センター</u> 、 <u>学習室</u> 、 <u>研修室</u>	○		○
8	横手市交流センター Y2 (わいわい) ぷらざ	秋田県横手市	オープンスペース、 <u>喫茶</u> 、 <u>研修室</u> 、 <u>市民活動スペース</u> 、 <u>図書・地域情報コーナー</u> 、 <u>放送大学再視聴室</u> 、 <u>にぎわいひろば</u> 、 <u>児童センター</u> (子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、家庭児童相談室)、 <u>トレーニングセンター</u>	○		○

【そのほか県内の主な施設】 ※事業中の事例も含む。

No.	名称	所在地	機能	機能配置の組合せ		
				例1	例2	例3
①	官民複合施設	十日町市	高齢者向け住宅、ファミリー向け都市型住宅、介護事業所、医療施設、商業テナント、託児所、子育てカフェ、FM とおかまちサテライトスタジオ ※事業中 (提案段階)	○		○
②	まちなか中核施設「コミュニティ銭湯」	見附市	レストラン、多目的室、健康コーナー、大浴場、岩盤浴 ※事業中			○
③	厚生産業会館	上越市	ホール施設 (ホール、練習室、楽屋)、公民館施設 (陶芸室、創作室、調理実習室、軽運動室、音楽室、和室、研修室)、こども施設 (プレイルーム、一時預かり室、グループ活動室、授乳室) ※事業中 (基本構想段階)	○		○
④	新発田駅前複合施設	新発田市	図書館、こどもセンター、多目的スペース、キッチンスタジオ ※事業中			○
⑤	かめだなかの保育園	新潟市江南区	保育園、デイサービスセンター	○	○	
⑥	コンフィ陽だまり苑 キッズ陽だまり園	新発田市	デイサービスセンター、特別養護老人ホーム、ショートステイ、ケアハウス、保育園、病児・病後児保育、一時預かり保育	○	○	
⑦	下山スポーツセンター 下山コミュニティハウス	新潟市東区	トレーニングルーム、プール、ランニングコース 会議室、和室、工作室、ホール			○

【No. 1】

名称	桜井福祉センター、さくら保育園
機能	福祉施設+保育園
設置・運営	愛知県安城市
開設	平成20年4月（保育園は平成20年2月に旧保育園より移転）
規模	敷地面積：約8,000㎡、計画面積：約3,940㎡、地上3階建て
事業費	約11億円
立地	愛知県安城市の中心部より4.5kmほど南。名鉄西尾線桜井駅の西側に位置する。
概要	<p>・桜井駅周辺は、古くから集落のある東側と、無秩序な宅地化が進む西側が鉄道により分断されていた。そこで鉄道を高架化し、土地区画整理事業によって整備を進めている。</p> <p>・区画整理事業（平成11年事業認可）が、都市再生整備計画の作成を契機としてスタートした。その中でも、福祉センター、子育て支援施設は核として先行して整備が行われた。</p> <p>・平成10年9月には、桜井駅周辺地区の計画的な土地利用を図り、調和のとれた活気あるまちづくりを進めるため、桜井駅周辺地区まちづくり委員会が設立し、さらに平成14年2月には課題ごとに研究をすすめていく「桜井駅周辺地区まちづくり部会」が設立された。</p> <p>・まちづくり部会は設置以降、多数のワークショップを実施し、この提案を実現するために、まちづくり交付金を導入・活用（計画期間：平成16年～20年）を図った。</p> <p>・複合福祉施設については、「福祉・バリアフリー部会」で基本設計のテーマについて話し合いが行われ、まちづくり委員会から市への提言書を提出し設計に反映されている。</p> <p>【福祉センター】</p> <p>・老人福祉センター、身体障害者デイサービスセンター、桜井地区社会福祉協議会の機能がある。会議室や多目的室は、一般でも利用できる。</p> <p>【保育園】</p> <p>・区画整理に伴う移転改築にあわせて施設規模を拡大。福祉センター内に子育て支援センターを併設し、地域の子育て支援の拠点となるように整備。</p>
	<p style="text-align: center;">機能配置図</p>

【No. 2】

名称	市民交流センター えんぱーく
機能	市民交流センター
設置・運営	長野県塩尻市（将来的には市民営を目指す）
開設	平成22年7月29日
規模	敷地面積4,937㎡、計画面積：約12,000㎡、地下1階 地上5階建て
事業費	約62億円（旧施設の解体費含）
立地	JR塩尻駅より徒歩8分 駅周辺の商業施設が立ち並ぶエリアにある。周辺には、トレーニングプラザ、スポーツプラザ、インキュベーションプラザなど、公共施設が多く立地している。
概要	<p>・市街地再開発事業により、再開発ビルの保留床部分を市が購入し整備した。</p> <p>・平成10年に、塩尻市中心市街地活性化基本計画が策定され、平成15年には「中心市街地活性化ワーキンググループ」、「市立図書館の在り方ワーキンググループ」が設置されそれぞれ提言書がまとめられた。</p> <p>・平成16年にはこれまでの計画や提言を受け、都市再生整備計画と市街地再開発事業基本計画が策定された。</p> <p>・平成18年に、市民交流センターの構想・設計・運営について協議する市民会議「市民交流センター創造会議」が設置された。</p> <p>・創造会議では、施設の基本コンセプトや機能を「建築構想」としてまとめるための検討を行った。建築構想に基づいた設計プロポーザルを経て選定された設計案を、創造会議や市民ワークショップなどで検討し、多くの市民の意見を反映した基本設計が策定された。</p> <p>・市民交流センターには、図書館、子育て支援・青少年交流、シニア活動支援、ビジネス支援、市民活動支援の5つを重点機能とする複合施設がある。</p> <p>・図書館、子育て支援センター、一般利用が可能な会議室やホールなどの他に、市役所の商工課・交流支援課、商工会議所、ハローワーク、民間オフィス、カフェ等が入居している。</p>
	<p style="text-align: right;">建物外観</p>

【No. 3】

名称	浦佐認定こども園
機能	認定こども園+子育て支援施設
設置・運営	南魚沼市が設置、指定管理者として医療法人社団萌気会が運営
開設	平成23年4月
規模	敷地面積：9,401㎡、総床面積：1,950㎡、木造平屋建
事業費	約5億7千万円
立地	所在：南魚沼市浦佐5278-9 ・浦佐駅から直線で約800mの場所に位置し、周辺には小学校や中学校、学校給食センターなどの公的施設やB&G海洋センターや大規模な公園がある。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・南魚沼市が設置した公設民営の認定こども園である。 ・老朽化と手狭な問題から改築が検討されていた浦佐幼稚園と、施設の不足、漏水があったために改修が必要となっていた浦佐保育園を統廃合し、設置された。 ・病後児保育室「そよかぜ」を建物内に設置し、定員3名、一日2,000円で病児保育を行っている。 ・運営を行う医療法人の診療所（萌気園浦佐診療所）が平成25年6月にこども園の隣接地に新築移転する。 ・浦佐診療所では「病児保育棟 花てまり」を併設しており、定員9名の病児保育を行っている。 ・園内には、子育て支援ルーム、学童保育施設を併設している。

こども園 間取り

病児保育棟 花てまり

【No. 4】

名称	まちの保育園 こたけむかいほら
機能	保育園+カフェ
設置・運営	ナチュラルスマイルジャパン株式会社
開設	平成23年4月
規模	延べ床面積：375.16㎡、園庭：280㎡、地上2階建て
事業費	—
立地	東京都練馬区の小竹向原駅から徒歩4分のところに位置する。周辺は閑静な住宅地である。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業が設置し、東京都の認証保育園となっている。 ・子どもたちの生活の落ち着きを確保しながら、いかにまちに開かれたものとするかという考えをテーマに考えられた保育園である。まちの人たちと園の子どもたちとの接点が自然に育まれるように、工夫をしている。 ・保育園の入り口にはカフェがあり、だれでも利用することができる。 ・ギャラリーもあり、園児の作品展の他、企画展なども行えるようになっている。

園内配置図

カフェ・保育園外観

カフェ店内 (イメージ写真)

【No. 5】

名称	健康の駅 ながおか
機能	高齢者センター＋高齢者福祉施設（ケアハウス等）
設置・運営	健康の駅ながおか㈱（特別目的会社）が運営
開設	平成16年
規模	敷地面積約3,600㎡（駐車場含む）、地上5階建て
事業費	10億9,508万5千円（選定事業者の提案価格）
立地	長岡駅から徒歩約20分の場所にあり、周辺は住宅や商業施設が多い。
概要	<p>1階：介護予防・地域交流センター、デイサービスセンター、ケアプランセンター、訪問介護ステーション、ケアサービスステーション、配食サービスステーション、クリニック（循環器科、内科、歯科、心療内科）</p> <p>2階：長岡市高齢者センターしなの</p> <p>3階～5階：ケアハウス</p> <ul style="list-style-type: none"> 長岡市の中央地区では、高齢者割合が高く、地元から高齢者センターの建設が望まれていた。 長岡市が市有地に高齢者センターを建設するにあたり、PFI事業を活用した。整備・運用、維持管理事業を特定事業として実施するにあたり、民間事業者が自らの提案により余剰空間を有効活用するために、付帯事業施設を設置、運営することができるものとした。 民間事業者の選定は、平成14年5月から平成15年6月にかけて、公募型プロポーザル方式（2段階審査）で行われた。 特定されたグループは、事業を実施する特別目的会社「健康の駅ながおか㈱」を契約日までに設立した。 <p>「高齢者センターしなの」には、誰もが利用できる大広間、交流室、研修室、食堂・売店などがある。また、リラクゼーション機能としての浴室もあり、地域の交流の場として利用できる。</p> <p>1階の地域交流センターでは、介護予防・健康増進のためのプログラムが行われている。</p>



建物外観



浴室内

【No. 6】

名称	東松島市健康増進センター ゆふと
機能	プール、温泉、トレーニングルーム、スタジオ、談話室
設置・運営	東松島市が設置、指定管理者による運営
開設	平成17年4月
規模	約7,000㎡
事業費	約12億円
立地	宮城県東松島市の矢本駅前に立地する。駅ロータリーに直結している。
概要	<ul style="list-style-type: none"> 矢本駅周辺は、道路事情の変化などから駅周辺のにぎわいがなくなっていたが、矢本駅前西地区活性化策の1つとして、健康増進センターが平成17年にオープンした。 プール、トレーニングルーム、スタジオ、談話室が備えられている。プールにはマッサージプール、流水プール、キッズプールがあり、幅広い年代の人が利用できる。 平成17年の開業から指定管理者による運営を行っていたが、オープン後は赤字経営が続き、平成19年5月末に撤退した。同年6月からは新たな指定管理者を選定し、無料の運動教室等を実施するなどして入館者数が増加した。 ジュニア水泳教室や、スタジオで成人向けの運動プログラムが開催されている。 毎週金曜には、市民向けの健康相談が行われている。 隣接して商業施設と街区公園が配置されている。



建物外観

【No. 7】

名称	ネーブルみつけ
機能	市民交流センター
設置・運営	見附市
開設	平成16年7月
規模	—
事業費	—
立地	見附駅から1.5kmほど、見附市役所や文化ホールに隣接する場所に位置する。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗を活用した施設として開設された。 ・まちの情報提供、行政サービス、市民活動支援、市民の憩いと交流の場等、様々な機能や役割を担う複合施設である。 ・「まちの駅」と「健康の駅」に認証されている。 ・見附市役所のまちづくり課も建物内にあり、施設の管理等を行っている。 ・まちの駅には、産業コーナーや歴史・文化紹介コーナーがあり、見附市の情報発信基地となっている。 ・子育て支援センターや健康づくりセンター、学習コーナー等もあり、多世代が交流できる施設になっている。 <div data-bbox="445 1029 1350 1396" data-label="Diagram"> <p>施設間取り</p> </div> <div data-bbox="667 1501 1172 1806" data-label="Image"> <p>建物外観</p> </div>

【No. 8】

名称	横手市交流センター Y2 (わいわい) ぷらざ
機能	市民交流センター、児童センター、健康の駅
設置・運営	横手市
開設	平成23年4月
規模	地上4階建て
事業費	—
立地	横手駅から徒歩3分、横手市の中心部に位置する。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田県厚生連平鹿総合病院が平成19年4月に郊外に移転したことにより跡地と周辺地区への対策が課題となっていた。 ・そこで商業施設、住居、公共施設、オープンスペース、及び駐車場等の整備を総合的に行うために「横手駅東口第一地区第一種市街地再開発事業」が施工され、その一部に交流センターY2ぷらざが建設された。 ・市民交流センターとしてのオープンスペースや図書コーナー、会議室などの他に、2階に児童センター、4階に「健康の駅よこて 東部トレーニングセンター」を併設する複合施設である。 ・児童センターの中には、子育て支援センターやファミリーサポートセンターがあり、子育て支援の拠点となっている。 ・健康の駅にはエアロバイクや各種筋トレマシン、シャワー室があり、高校生以上の市民が利用できる。時間によって、生活習慣改善教室、シニアパワーアップ教室などのプログラムが行われている。 ・1階には、障がい者就労支援事業所が運営し、就労訓練を行っている喫茶も入居している。 <div data-bbox="1855 1281 2315 1617" data-label="Image"> <p>建物外観</p> </div> <div data-bbox="2344 1354 2760 1617" data-label="Image"> <p>健康の駅</p> </div>